

**【施策評価調査】**

施策名	2-1-4	たばこ・アルコール対策	85	施策目的	喫煙が自分や回りの人の健康に与える影響を理解し、節煙、禁煙に取り組みます。 分煙や喫煙マナーの遵守に努め、妊婦や子どもの周辺では喫煙しません。 健康を害さないアルコール量や飲み方を理解し、実践します。 飲酒が健康に与える影響について正しく理解します。 ・喫煙や多量の飲酒が生活習慣病を助長することを認識していただくことが重要であることから、健康教室や健診の結果説明や乳幼児健診において啓発していく必要がある。
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 リーダー	健康づくり担当 荻原 敏子	施策内容	家庭や学校と協力して、たばこやアルコールの健康に対する影響について正しい知識の普及に努めるとともに、未成年者の喫煙や飲酒を防ぐ環境を整えます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	20歳代の喫煙や女性の喫煙が全国的に増加しているが、壮年、中年、高年の喫煙は減少している。 たばこによる健康被害の意識が全国的に広まっている。				

**■指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:成人の喫煙率(%)	H16年生活習慣調査	計画	21.0%	20.0%	18.0%	16.0%	15.0%
	22.0%	実績	↑ 14.80%	↑ 16.70%	↑ 16.00%	↑ 15.70%	
指標②:成人男性のアルコール性肝障害の割合(%)	基本健康診査項目別結果	計画	20.0%	19.0%	18.0%	17.0%	15.0%
	20.8%	実績	↑ 17.70%	↑ 16.70%	↑ 14.10%	↑ 14.10%	
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	当初	318,900	75,000	82,000	0	
	決算	35,532	57,645	80,850	0	

**■事務事業事後評価 21年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①知識の普及事業	当初	0	A	喫煙や飲酒による健康被害について啓発することができた。			
	決算	0		15.7% / 16.0%	今後の方向性(自己評価)	統合	今後の方向性(総合評価)
②	当初						
	決算			/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
③	当初						
	決算			/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
④	当初						
	決算			/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)
⑤	当初						
	決算			/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)

**■施策事後評価 21年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	単独での禁煙や禁酒の啓発ではなく、事業に合わせた啓発であるため、禁煙や禁酒の必要性を理解し行動を変えることができたと思われる。禁煙については社会全体が禁煙の傾向になっているのでより効果が上がると思われる。	今後も事業と他の事業と合わせて実施していく。禁煙については施設内だけでなく、敷地内禁煙が進められているところであるので、社会情勢に合わせた啓発を行っていく。
総合評価	他事業の中で併せて行っていくこととしたことを評価する。 今後は、他の施策と統合して事業展開する上で、社会情勢の動向を踏まえながらの啓発となるが、町としてすべきことを見極め、役割分担をした事業展開を検討すること。	